

2019年4月19日  
沖縄電力株式会社

## エネルギー記者会における社長会見について

電気事業連合会加盟各社は、エネルギー記者会において、毎月（8月を除く）輪番で社長による定例記者会見を行っております。

本日、当社社長 本永浩之が会見を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

1. 日 時： 2019年4月19日（金）15:00
2. 場 所： 経団連ビル 電事連 1801 会議室  
（東京都千代田区大手町）
3. 出席者： エネルギー記者会加盟各社
4. 配付資料： 別紙参照

以 上

## 1. 沖縄経済の動向について

1

- **現状** 個人消費が堅調で観光関連は好調、建設関連も公共投資が底堅く推移しており、全体として拡大している。

- ▶ **個人消費** 百貨店・スーパー・コンビニエンスストアといった小売業を中心に堅調に推移している。
- ▶ **観光関連** 入域観光客数は航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増加などから好調に推移している。
- ▶ **建設関連** 公共投資は前年度が高水準であった反動はあるものの、底堅く推移している。住宅投資は、高水準で推移している。
- ▶ **雇用** 有効求人倍率が29ヵ月連続で1倍台を記録し、完全失業率も低下するなど改善している。

- **先行き** 個人消費は堅調で観光関連が好調に推移することにより、引き続き拡大していく見通し。

## 主要経済指標の推移（対前年伸び率）

（単位：％、％ポイント）

|                             | 2017年度 |      |      | 2018年度 |       |       |       |       |       |       |
|-----------------------------|--------|------|------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|                             | 上期     | 下期   | 年度   | 上期     | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 4-2月  |
| 百貨店・スーパー販売額 <sup>(注1)</sup> | 4.6    | 5.0  | 4.8  | 2.0    | 6.3   | 2.1   | 1.4   | 1.1   | 2.2   | 2.2   |
| 新車販売台数                      | 1.7    | ▲1.8 | 0.1  | 9.3    | 13.9  | 10.7  | ▲2.8  | ▲2.9  | 5.6   | 7.5   |
| 入域観光客数                      | 9.3    | 9.2  | 9.2  | 3.0    | 6.3   | 4.2   | 4.0   | 7.0   | 8.5   | 4.3   |
| 公共工事請負金額                    | 17.1   | 9.3  | 12.8 | ▲7.7   | ▲26.8 | ▲30.7 | ▲39.7 | ▲72.6 | 12.8  | ▲22.1 |
| 新設住宅着工戸数                    | 2.6    | 3.4  | 3.0  | 1.1    | 6.8   | ▲29.7 | 8.3   | ▲14.2 | ▲32.1 | ▲5.6  |
| 完全失業率 <sup>(注2)</sup>       | ▲0.9   | ▲0.1 | ▲0.6 | ▲0.3   | 0.0   | ▲0.9  | ▲0.4  | ▲0.6  | ▲2.1  | ▲0.5  |
| 有効求人倍率 <sup>(注2)</sup>      | 0.15   | 0.12 | 0.13 | 0.04   | 0.04  | 0.02  | 0.05  | 0.08  | 0.07  | 0.05  |

注1：百貨店・スーパー販売額は全店舗ベース。注2：有効求人倍率、完全失業率は原数値による前年同期とのポイント差を記載。  
〔データ出所：沖縄総合事務局、沖縄県、りゅうぎん総合研究所、他〕

## 2. 電力需要の動向について

2

- **2018年度の電力需要** **74億5千3百万kWh**（対前年伸び率 ▲4.0%）

## 電灯

お客さま数が増加したものの、気温が前年度に比べ夏場は低く、冬場は高めに推移したことによる冷暖房需要の減少などにより、前年度を下回りました。

## 電力

前年度に比べ夏場の気温が低めに推移したことや、他事業者への契約切り替えによる需要減などにより、前年度を下回りました。

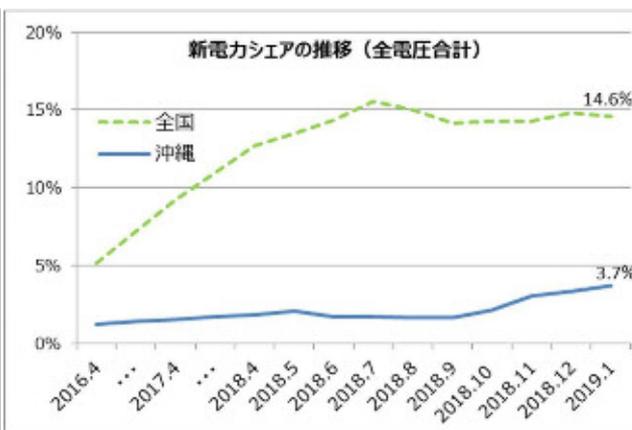
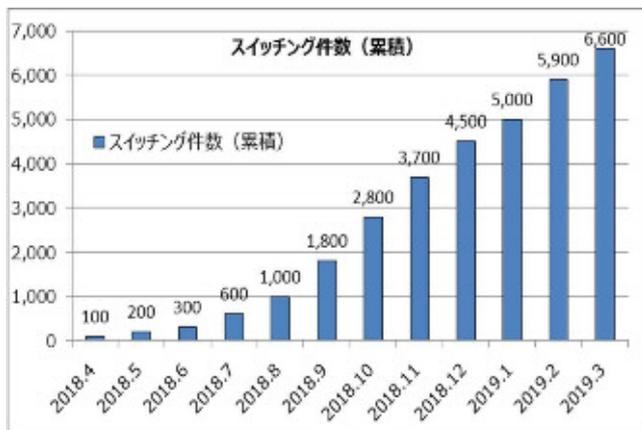
## 電力需要

（単位：百万kWh、％）

|     | 2017年度<br>(実績) | 2018年度<br>(実績) | 前年差  | 対前年<br>伸び率 |
|-----|----------------|----------------|------|------------|
| 電 灯 | 3,140          | 2,960          | ▲180 | ▲5.7       |
| 電 力 | 4,621          | 4,493          | ▲128 | ▲2.8       |
| 合 計 | 7,761          | 7,453          | ▲308 | ▲4.0       |

#### 電力小売全面自由化の進展状況

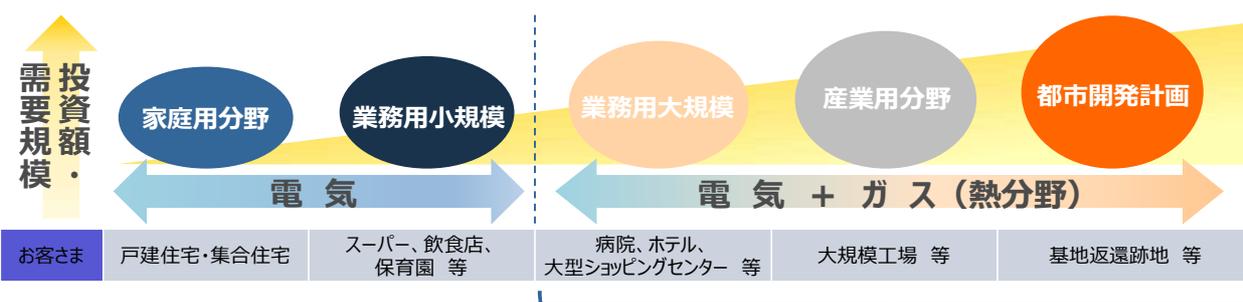
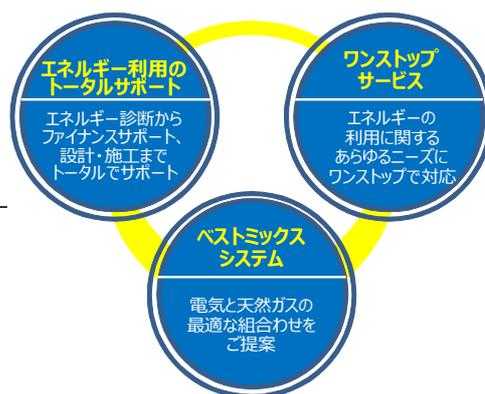
- 2016年4月の電力小売全面自由化以降、電源開発(株)の石川石炭火力発電所の切り出し電源やFIT電源等を活用した複数の新電力参入により、沖縄エリアにおいても本格的な競争を迎えている。
- 2018年4月より提供している「需給調整用の卸電力メニュー」を活用した新電力の参入もあり、スイッチングの件数は累積で6,600件（2019年3月現在）まで増加しており、沖縄エリアにおける新電力の販売電力量シェアは、全電圧合計で3.7%(2019年1月時点)となっている。



〔データ出所：電力広域的運営推進機関「スイッチング支援システムの利用状況」〕

〔データ出所：電力・ガス取引監視等委員会「電力取引報結果」〕

- **3つの柱で総合エネルギーサービスの取り組みを推進**
  - エネルギー利用のトータルサポート
  - 電気とガスのベストミックスシステム提案
  - ワンストップサービス
- **お客さまニーズを的確に捉え、電気とガスの相乗効果を発揮し、電気とガスの販売拡大を図る**
  - ESP事業の推進
  - 大規模都市開発計画等へのエネルギー分野における取り組み
  - お客さまのニーズに応じたサテライトでの遠隔地へのLNG販売
  - 当社Gが所有する導管近傍での導管によるガス販売の拡大



総合エネルギーサービスによる取り組み強化

#### ①ESP事業の取り組み

- 当社は、お客さまに代わってエネルギー設備の保有、加工、供給を行うエネルギーサービスプロバイダ（以下、ESP）事業に取り組むこととし、2017年(H29)12月に『(株)リライアンスエナジー沖縄』を設立。
- 設立は多くのESPの実績を有する東京都サービス(株)と合併で実施。
- 2018年(H30)3月には、大阪ガス(株)が出資参画し、新たな体制で事業運営をスタート。**電気事業者と熱供給事業者に加え、ガス事業者のノウハウも活用可能**となり、様々なエネルギー事業者が連携して取り組むESP事業者として、**お客さまニーズに合わせた幅広いエネルギーサービスの提供が可能**となった。

#### <ESPのイメージ>

お客さまに最適なエネルギー設備の設計から設備保有、運用までをアウトソーシング



#### <採用実績>

- ・「サンエー浦添西海岸 PARCO CITY」(浦添西海岸地区)
- ・「社会医療法人 友愛会 豊見城中央病院 新病院」(豊見城市)
- ・「沖縄科学技術大学院大学 第4研究棟」(恩納村)
- ・「(仮)サンエー石川シティ」(うるま市石川浄水場跡地)

#### <ESP事業 採用事例>

##### サンエー浦添西海岸 PARCO CITY



※ (株)サンエーバルコ公式HPより

- 開業時期: 2019年夏(予定)
- 店舗面積: 約60,000㎡(予定)
- 駐車場: 約3,800台(予定)
- 建物規模: 地上6階建(商業ゾーン1~3階)

##### 社会医療法人友愛会 豊見城中央病院 新病院



※提供元: 社会医療法人友愛会 豊見城中央病院様

- 開業時期: 2020年春(予定)
- 延床面積: 約48,848㎡
- 病床数: 378床
- 建物規模: 2棟(地上8階建:免震棟、地上3階建:耐震棟)

##### 沖縄科学技術大学院大学 第4研究棟



※ 提供元: 左) OIST/東郷憲志様、右) OIST様



第4研究棟 (完成イメージ)

- 延床面積: 19,000㎡
- 建物規模: 地上4階、地下2階

#### <今後の展開>

- 沖縄電力本店構内にエネルギーマネジメントセンターを建設し、構内のビルや施設、近隣に建設予定のホテル等への供給など、同センターを中心とした面的な総合エネルギーサービスの展開を検討している。

#### ② ガス供給事業の取り組み

- ▶ お客さまの立地や需要規模に合わせ、導管供給、ローリー供給およびPEC※1供給センターの各方式にて供給を行っており、2018年度末時点のお客さま件数は18件となっています。 ※1.子会社の(株)プログレッシブエナジー
- ▶ 2015年のガス供給事業開始以降、販売量、売上ともに着実に拡大しており、2018年度の販売量は2.9万t、売上高は22億円を見込んでおります。

##### 導管供給方式 (5件)

吉の浦火力発電所構内で液化天然ガスを気化・付臭した後、導管にて供給。

##### ローリー供給方式 (7件)

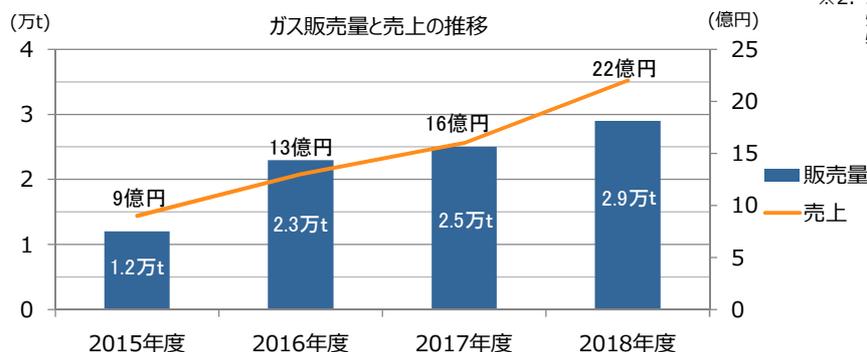
導管が整備されていない地域のお客さまには、液化天然ガスをタンクローリーにて供給。

##### PEC供給センター方式 (6件)

基地返還跡地や工業団地等において、PECが供給センターを設置 (3地点※2) し導管にて供給。



※2. アワセ天然ガス供給センター  
州崎天然ガス供給センター  
牧港天然ガス供給センター(5月供給開始予定)



**主なガス供給先**

- 沖縄ガス
- 拓南製鉄
- 沖縄綿久寝具
- オリオンビール
- 中部徳洲会
- 伊藤園

※年間500t以上の供給実績があるお客さま

#### ② ガス供給事業の取り組み

- ▶ 沖縄県内では、観光客の増加に伴うホテル建設、大規模都市開発および大型商業施設の建設等に伴いエネルギー需要の増加が見込まれる。
- ▶ 天然ガスの利用等に関する豊富な技術・ノウハウを有する大阪ガスとの(株)プログレッシブエナジーへの出資を通じた資本提携を行うことで、ガス販売量の拡大と保安面も含めた安定供給体制の更なる強化を図る。

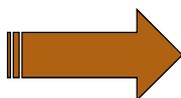
##### 【(株)プログレッシブエナジーの概要】

- 代表者：代表取締役社長 湊 好男
- 本社所在地：沖縄県中頭郡中城村字泊468番地1
- 設立日：2001年8月23日
- 資本金：1億円
- 事業概要：
  - ・ガス供給事業
  - ・エネルギーサービス事業
  - ・可倒式風力関連事業（建設・メンテナンス）等



##### <株主構成>

| 出資前          |       |
|--------------|-------|
| 沖縄電力株式会社     | 91.0% |
| 沖電企業株式会社     | 5.0%  |
| 株式会社沖電工      | 2.0%  |
| 沖縄プラント工業株式会社 | 2.0%  |

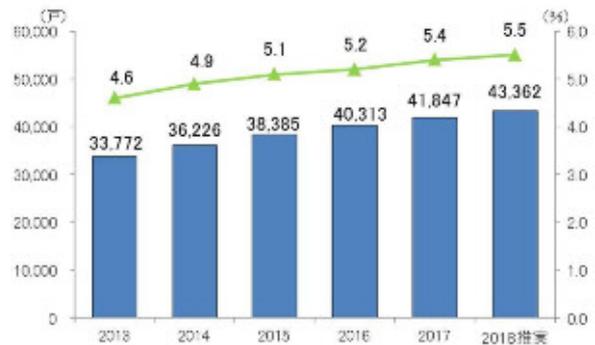
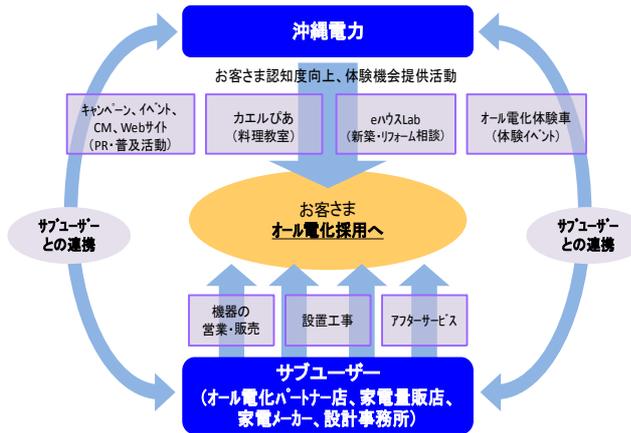


大阪ガス(株)との資本提携により  
ガス供給事業の取り組みを強化

| 出資後 (出資日：2019年3月18日) |       |
|----------------------|-------|
| 沖縄電力株式会社             | 66.0% |
| 大阪ガス株式会社             | 25.0% |
| 沖電企業株式会社             | 5.0%  |
| 株式会社沖電工              | 2.0%  |
| 沖縄プラント工業株式会社         | 2.0%  |

## ■ 電化営業の推進

- 新築やリフォームにおいて、お客さまにオール電化を選択いただけるよう、サブユーザーと連携した販売促進および積極的なプロモーション活動を展開し、需要掘り起こしを強力に推進。
- テレビ・ラジオCMの放映、オール電化キャンペーン等を実施し、エンドユーザーへの電化訴求や家電量販店、地域家電店等のサブユーザーとの連携強化を図っている。引き続き「キャンペーン」「CM」「情報発信（紙面・Web・SNS）」「イベント」「オール電化体験施設」「県内商業施設などでのオール電化体験イベント」など各施策を効果的に連携させてオール電化のさらなる普及拡大に取り組む。
- 沖縄県におけるオール電化住宅の普及率は年々増加しており、2018年度推定実績で5.5%の見込み。今後もオール電化の良さを積極的にPRし潜在需要の掘り起こしを図る。



## ■ 新しい電気料金メニューへの移行促進

- これからもお客さまに選択していただけるよう、おトクにご利用いただけるご家庭向け新料金メニュー「グッドバリュープラン」を2018年6月1日より提供。
- 「グッドバリュープラン」開始後、対象となるお客さまへのチラシ配布を行うなど、「グッドバリュープラン」の周知に努めた結果、着実に件数を伸ばしている。

